

# 高砂青松

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan

## Rotary Club



意識を喚起し 進んで行動を

“CREATE AWARENESS, TAKE ACTION”

2000～2001年度国際ロータリーのテーマ



### 例会記録 (2000. 10. 18 (水)) 通算 1089 回

ソング	「我等の生業」「歓迎歌」		
本日のゲスト	審画廊 清水 宣 詔 氏		
出席報告 (澤田)	10月4日	会員数60名	欠席者 0名 出席率 100% <修正による>
	10月18日	会員数60名	欠席者 19名 出席率 65.45%
委員会報告	○ 国際奉仕委員会 (大森明) チェンライR.C.訪問日程について例会の後、打合せを行います。		
	チェンライR.C.訪問日程表		
	1. 日程	平成12年11月1日(水)～4日(土)	
	2. 参加者	全10名	
		1. 中尾 信彦 地区国際奉仕委員会世界社会奉仕委員	
		2. 唐津巳喜夫 会長	
		3. 大森 千里 地区国際奉仕委員会委員長	
		4. 大森 明夫 国際奉仕委員長	
		5. 大森 都 (大森明夫人)	

#### プログラム予定

10月18日(水)	10月25日(水)	11月1日(水)	11月8日(水)
職業奉仕委員会担当 卓話 「画廊経営と文化活動」 審画廊 清水宣詔氏	卓話 曾根 会員	卓話 伊藤 会員	「R財団委員会担当例会」 大森千里 会員

会長 唐津 巳喜夫 幹事 内海 薫 クラブ会報委員長 都倉 達 殊  
 例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室 (2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (0794) 43-0500(代)

- 6. 庄司 武
- 7. 庄司 幾子 (庄司武夫人)
- 8. 高井 利夫
- 9. 田中 浩行
- 10. 原田 義之

3. 主要行程

11月1日(水) 関西国際空港出発 — (香港) — バンコク  
 (10:20発) (13:45着)  
 (16:00発) (17:50着)

バンコク — チェンライ — チェンライ泊  
 (19:45発) (21:05着) \*宿泊 ワンカムホテル

11月2日(木) 終日チェンライ日程

主要行事 1) クンパンヤ文庫視察  
 2) 少数民族子女寮 視察 (2680地区支援先)  
 3) 欠食児童支援校 視察  
 (時間が許せば、タイ・ビルマ国境ビルマ越え)

夜 チェンライR.C.例会出席 \*宿泊 ワンカムホテル

11月3日(金) 午前中チェンライ

チェンライ — バンコク  
 (12:45) (14:00)

ホテルチェックイン モナフリーホテル (同宿泊)  
 (15:00)

11月4日(土) バンコク — (香港) — 関西国際空港

(11:35発) (15:20着)  
 (16:40発) (21:00着)

○ 米山奨学委員会 (森 脇)

米山月間になっていますので、会員の御協力をお願いします。

ニコニコ報告

唐 津 巳喜夫 …… 蕃画廊 清水様をお迎えして。

内 海 薫 …… スピーカーに清水宣詔氏をお迎えして。

廣 瀬 明 正 …… 市内の秋祭りも好天に恵まれ無事に終わりました。本日は清水宣詔氏をお迎えして、卓話をお願いします。

森 脇 祥 文 …… 今月は米山月間です。皆様の協力よろしく御願ひ致します。

柿 木 國 夫 …… 先日ゴルフでちょっと良い事がありました。二度目ですので、何も致しません。

伊 藤 勝 之 …… 結婚祝ありがとうございます。

庄 司 武 …… 義兄、清水宣詔がスピーチします。自分の卓話以上に大変緊張しています。メンバーの皆様にはよろしくお聞き下さいます様お願い致します。

栗 原 康 高・吉 田 一 富  
 …… 早退します。

小 林 久 夫 …… 早退致します。

幹 事 報 告

第 1 5 回 通 算 1 0 4 2 回

1. 次々年度会長選考の件

選考委員は西田、鹿間(紅)、京谷、塩谷、中谷各会員、委員長は西田光衛会員。

2. 例会変更

加古川平成R.C.

11/8(水) → 11/9(木) 職場例会のため

12:45~ 於: 姫路トステムショールーム

加古川中央R.C.

11/16(木) → 職場例会のためオークラ輸送機(株)加古川東工場

3. 高砂市国際交流協会から

国際交流通信No.44が届いています。回覧します。また国際交流事業として「こんなのはどう?」というアイデアを募集しております。用紙がありますので幹事まで申し出て下さい。

4. 財団法人兵庫県心身障害児福祉協会

今井鎮雄理事長から

「しあわせの絵はがき・カード」の購入の協力依頼が来ております。回覧しますので必要な方は申し込み用紙にご記入下さい。

また福祉協会だよりNo.28が届いています。回覧します。

5. 前回お願いいたしました三宅島災害の義援金箱をお返しします。1人当たり1000円を目途にお願いいたします。

6. 10月度の理事・役員会の報告は週報No.14に掲載してあります。

会長の時間

10月は新聞週間です。

新聞について普段感じていることを申し上げます。

戦中・戦後は、新聞は2頁でした。しばらく1~4頁、8頁と増えた。戦後の経済発展とともに量が増えてきたように思います。現在では32頁~36頁が普通のようなようです。

ページは増えたが、新聞そのもののスタイル記事の内容等は昔と殆ど変わっておりません。

新聞の基本形は4頁型だと考えておりますが、第1面が政治、第2面が経済、第3面が社会面—今でも社会面のことを三面記事と呼ぶことがあります。—第4面にラジオ・スポーツ等。

現在の新聞もこの基本形から全くといっていい程、変わっておりません。いつも時代の最先端を走っているマスコミの中心的存在の新聞が全く変わらないのは不思議な気がします。しかも主だった新聞は全て、ほぼ同じスタイルで値段も同じ、休刊日も同じ。これでそれぞれが激しい拡販競争をしているのですから、全く不思議な世界です。

本日のプログラム

卓話「画廊経営と文化活動」 蕃画廊 清水宣詔氏  
画廊開設のキッカケ

高砂ではじめてではない。約40年前高砂に画廊があった。

その頃の文化レベルは高いものでした。

画家 角 卓

画家 田中裕一

画家 矢野太郎

書家 坂田聖峯

書家 鷺尾翠渡

書家 渡辺紫水 永田芳蘭

中でも 小西翠山

高砂・加古川合同展の創設を教育委員会 赤松龍が行いだした。

文化施設を比較してみますと、高砂では、高砂文化会館が昭和42年に建設され、播磨地方で一番早かった。

加古川では現在、加古川文化センター、ウェルネスパークなど市民会館の外



に建設され利用されています。

- 顕彰事業 加古川 松岡青羅
- 加古川 瀧ひょう水
- 加古川 永田耕衣
- 高砂 武蔵
- 高砂 山片蟠桃

無料の催しが多い。

第4回 森岡ステンドグラス教室 作品展

2000(平成12)  
● 10月20日(金)~26日(木)  
AM10:00~PM7:00

● 蕃画廊  
〒676-0001  
高砂市中島3-6-19  
TEL/0794-42-1052  
FAX/0794-43-4440

